

2018年9月19日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 山本 敏博

(東証第1部 証券コード: 4324)

電通、ESG視点で企業の持続可能性（サステナビリティ）を評価・選定する社会的責任投資指標「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄に3年連続で選定される

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博、資本金：746億981万円）は、世界的な社会的責任投資（Socially Responsible Investment (SRI)）指数である「Dow Jones Sustainability Indices (DJSI)」※のアジア・パシフィック版「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・アジア・パシフィック・インデックス（DJSI Asia Pacific）」を構成する銘柄に3年連続で選定されました。

DJSIは、世界の金融市場指数を提供する米国のS&P Dow Jones Indices社と、社会的責任投資に関する調査・格付け企業であるスイスのRobecoSAM社が共同で開発した株式指数で、従来の財務分析に加え、環境・社会・ガバナンス（ESG）などへの取り組みにも視野を広げて企業の持続可能性（サステナビリティ）を測定するもので、総合的に優れた企業が選定されています。DJSI Asia Pacificは、アジア・太平洋地域の主要企業約600社を対象に、今年度は150社（うち日本企業75社）が選定されました。

今後も当社グループは、コミュニケーションを通して、人へ、社会へ、新しい価値をもたらす役割を担うとともに、サステナブルな社会の実現と持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

【DJSIのロゴマーク】

MEMBER OF
**Dow Jones
Sustainability Indices**
In Collaboration with RobecoSAM 

※DJSIの詳細は、RobecoSAM社のウェブサイト（<http://www.sustainability-indices.com/index.jsp>）をご参照ください。

以 上